

第3弾！ 現場指導の悩みに解決案を提言する！ ご存知ですか？ 現場の指導と管理が、国試合格の最大の要因だと

- ※ 今月号は、「現場の指導と管理の仕方」について、前月号に引き続き、「すぐにでも、実践できる具体的な方法」を特集した。なぜならば、全国のEPA受け入れ機関からの相談の大半は、「指導方法と管理方法」についての問い合わせが、非常に多くあるからだ。
- ※ 当然のことながら、EPA事業は、複数国の外国人であり、【言語も違えば、文化も違い、さらには、価値観も違う】ために、外国人対応能力がない日本人にとっては、その対応に困惑することが多い。

- ※ 弊社が252か所の受け入れ機関に、聞き取り調査をした結果は、第一位に、「EPA担当者をつけているが、具体的には何もできていない」第二位、「具体的な対応方法が分からず、放任している」という結果が上位を占めたことは驚きだ。表2は調査結果の順位と、具体的な現場の意見をまとめたものだ。
- ※ 上記の調査結果を解析すると、現場ではほとんど、「具体的な指導がされておらず、また、管理も十分でないこと」が、判明したことは注目すべきだ。

1. 【現場にとっての指導とは、どんなことなのか？】

「現状の言語能力を把握しているか、どうかについて、現場の担当者に聞いてみた！！」

ア) 受験者の言語能力を、把握している場合

把握の仕方は、事業団からの集中研修の日本語能力評価をもって、把握していると答えた機関が多かった。しかし、入職時並びに、既に1年以上滞在している受験者に対しては、教育指導者からの報告をもって、把握しているとも答えた機関が多かった。そして、事業団の定期テストの評価で把握していると答えた機関が最も多かった。

イ) 受験者の言語能力を、把握していない場合

日常業務の中で、受験者との会話の範囲で日本語能力の「ある・なし」を判断しているケースが最も多かった。但し、受験者の反応が単語だけの反応であっても、業務の遂行がある程度できるために、日本語力があると判断している傾向が強かった。これらの判断には、客観的な基準がなく、主観的な判断に基づくものだった。

【解決案 1】

- ※ 表1の通り、現場指導者はこの二種類の仕事が主な仕事だ。(生活面の指導)の1・2・4は、体得指導を基本として、3・5は、教育指導者に任せることが重要だ。(職場の指導)は、全て現場での体得を中心とした指導が最も効果的だ。但し、3・5の体得習得が難しいものについては、日本語力の向上を見ながら、指導すべきだ。
- 外国人対応策の大前提としては、「客観的な評価」ができる言語能力を把握することだ。当然ながら、曖昧な把握の仕方では、指導者の指導内容も、受験者が本当に理解しているかは、全く分からないからだ。言語能力の把握を「マークシート方式試験結果」だけで見定めることは、極めて極端な把握の仕方だと言える。【月報79号】参照
 - 現場指導者として、必ず把握すべきことは、言語技能が全て評価できる「構文式試験結果」の数値を知ることだ。それで、表1の指導が初めてできる基礎となる。
 - 指導の徹底を図るためには、指導内容が受験者に理解できない限り、徹底できないのは当然のことだ。理解度の確認方法は、指導した内容を反復させたり、要約して話させたりすることが重要だ。そして、指導者の発話を、受験者の日本語力に合わせた話し方にすべきだ。

表1. 【主な指導の種類と優先順位】

(生活面の指導)	(職場の指導)
1、生活指導	1、職場環境の指導
2、生活習慣指導	2、職場組織の指導
3、日本語指導	3、就労規則の指導
4、地域社会指導	4、接客・対応指導
5、専門知識の指導	5、専門知識の指導

表2. 【調査結果の順位表】

- 1位 担当者をつけているが、具体的には何もできていない。
- 2位 具体的な対応方法が分からず、放任にしている。
- 3位 担当責任者もおらず、外部の講習会等に行かせているだけ。
- 4位 ボランティア教師に任せっきりで、その報告書等は、何もない。
- 5位 外部の学校に通学させているが、報告がないために、日本語力がよく分からないので、指導方法も分からない。
- 6位 OBの職員に任せているが、教育の進捗状況の報告がないために、具体的な指導もできない。
- 7位 日本語が通じないので、指導してもその理解ができないから、やめた。
- 8位 シフトを決めるだけでも大変な労力があるのに、指導や管理は無理だ。
- 9位 EPAは短期労働者だし、日本語力もないために、単純労働力としている。だから、職員の負担になる担当者制も取っていない。
- 10位 本部が勝手にEPAを受け入れて、半強制的に下部組織に割り当てているので、指導する担当者や管理者等は決めていないし、職員の負担が大きい。

II、【 受験者の管理とは、一体どんなことなのか？ 】

「 受験者の価値観は、日本人とはこんなに違う！ 」

※ インドネシア人とフィリピン人の価値観は、共通する面が多くある。特に、教育と職業については、非常によく似た価値観を持っている。その共通性は日本人とは異なり、向学心が弱く、職業に関しては、専門技能に関心が薄い。また、地理的に熱帯地方の国民のために、「楽観的な人生観」を持っている。

※ それに対して、ベトナム人は歴史的な背景から、向学心と専門技能について関心が強く、日本人の価値観に近いものを持っている。しかし、社会主義教育を受けているために、職場での労働条件や将来性等については、常に客観的に判断する。

そのため、「自己利益を優先する価値観」を持ち、それを強く主張する特徴がある。

表3、（主な管理の種類と優先順位）

（教育面の管理）	（職場の管理）
1、勤務内の学習管理	1、勤務時間の管理
2、勤務外の学習管理	2、業務管理
3、受験対策の管理	3、業務知識の管理
4、言語能力の管理	4、接客対応の管理

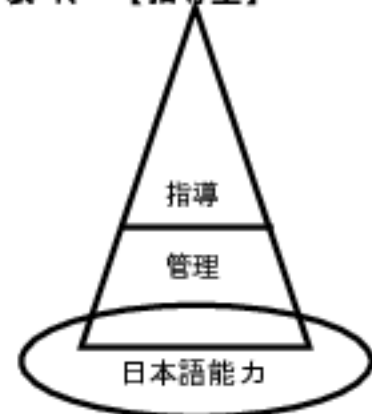
ア) 「 外国人を上手に管理するコツは、これだ！ 」

【 解決案 2 】

※ 表3の通り、管理の優先順位を明確に認識して、管理体制をつくることが重要だ。特に、（教育面の管理）の2・4は、意識的に管理をしなければ、受験者は自助努力をしない傾向が強い。特に、インドネシア人とフィリピン人はこれに該当する。また、（職場の管理）の2・3は、十分な管理体制がないと、事故の原因となる可能性が高いので、厳しい管理が必要だ。その基盤となる【日本語能力】がなければ、十分な管理は不可能だし、指導内容も理解できないことを認識すべきだ。

- 1、受験者を労働者として、明確に位置づける。
- 2、受験者の行為は、全て自己責任とする。
- 3、業務内容の質を厳しくチェックする。
- 4、出来が良ければ、褒め、悪ければ、罰する。
- 5、人情的ではなく、金銭的な対応姿勢を打ち出す。

表 4、【 指導型 】



イ) 「 『本音と建て前』が通じない受験者を、上手く使うには！ 」

【 解決案 3 】

※ 表4【指導型】は建て前型の組織と言える。また表6【並立型】は民主的な組織のように見えるが、実質は『本音と建て前』を使い分ける日本独特の組織と言える。この型の種類は、受け入れ機関の設立経緯等が反映されて表4・5・6の組織形態を作り出している。

※ 受験者が表4とか表6の組織に入職した場合には、様々な人間関係や経営方針に対しての問題が少なからず生じている現状がある。特に、表4【指導型】はオーナー主導型で、「上意下達型」の組織であるために、オーナーの考え方に添わない受験者等にとっては、非常に厳しい労働環境を強いられることになり、帰国者が発生する可能性が大きいと言える。

※ 受験者の母国は、契約社会であるために、契約条件から外れる労働は契約違反と判断する。これは、職場に対する反感を抱く大きな要因となる。

※ 受験者には、「義理・人情・恩情」などの日本人が持つ独特な感情は、持っていない。そのために、管理上で【やり・もらい】の日本語表現は一切通じず、その言葉に含まれる日本人特有の感情には理解できない。仮に、受験者がこの表現を使っていたとしても、その意味を理解した上で使っているものではないことを認識する必要がある。

- 1、日本人の建て前だけでは通じない。
- 2、有言実行でなければ、信用されない。
- 3、受験者の前では、上司・組織の悪口は言わない。
- 4、本音を言えば、理解されると思うのは間違い。
- 5、受験者は、本音の社会人だ。
- 6、受験者は、義理・人情・恩情とは、無縁の人間だ。

表 5、【 管理型 】



表 6、【 並立型 】



現場職員の声

形だけの学習は、無意味！！

- ボランティアの日本語教師に指導を任せているが、日本語力が一向に高まらず、難しいと思っている。そして、授業報告などもないので、どんな授業を受けているのかも、分からない。けれども、毎週月曜日に8時間もの学習時間をとって、勉強させている。その間は、業務をさせていない。管理体制に問題がある。
- 現場は猫の手も借りたい忙しさなのに、日本語力は高まらないし、受験者の学習意欲は下がっているし、ただ、勉強しているという形を取らせているだけだ。ちゃんと学習をしているか、否かを職員もチェックをしないとイケないと思うが、忙しさにかまけて、なかなか管理できていないことが現状だ。

(大阪府・A施設)

「はい、分かりました」の返事は良いが？

- 入職して半年経過し、たわいもない会話はそこそこできるようになったと、感じている。しかし、業務で指示した内容に対して、どこまで理解できているのか、分からない時がある。というのは、笑顔で「はい、分かりました」と答えても、指示したことに対して、その通りに出来る時と、出来ない時があるからだ。
- この返事に対して、本当に分かっているのか、疑問に感じる事が最近、多くなってきた。彼女達の返事は気持ちよいが、その返事に信憑性は、あまり感じられなくなってきたのが、実態だ。だから、今まで以上に、業務のチェックをきちんとしなければいけないと思った。

(神奈川県・V施設)

どう管理したら良いのかに、迷っている！

- 受け入れに際して、事業団から「勤務時間内で学習時間を取るように」との指導があったから、最低、週8時間を取っている。その時間は、自由に学習させているために、母国語で話したり、日本語学習とは関係のないことをしたり、中には、ヘッドホンで音楽を聴いたりしている。
- 正直言って、その時間内に職員を一人配置して監督指導をする程の人的な余裕は、全くない。その結果、業務連絡や指示をしても、その内容が理解できないために、職員と一緒に業務をしないとできない状態だ。正直言って、二度手間業務が毎日続いていて、困惑している。

(兵庫県・S施設)

やはり、現場管理・指導体制が必要だ！！

- 毎日午後1時から5時までの4時間、自学する学習時間を与えている。現場の教育担当者を一応つけて、専門用語・専門知識の指導を中心に受験対策もしている。とは言っても、看護師も自分の業務があるために、つきっきりで指導できるわけではない。一室、与えて自学させている時が多い。
- 職員が見ていない時、部屋の前を通ると、音楽を聴きながら学習をしたり、誰かと話している声が聞こえてくる。真面目に勉強しているかと思うと、そうではない時が多い。担当者が指導できない時は、自習は辞めさせて、業務をさせた方が、よっぽど良いのではないかと。やはり、現場の管理体制を見直して、国家試験に合格できるような指導体制を作るべきではないだろうか、疑問に思っている。

(東京都・S病院)

管理部門と現場の考え方が違う！！

- 総務部は将来に備えて、人材育成を行っている。その中でEPAも含まれており、病院の期待も大きい。しかし、看護部が日常的に教育指導をする役割を担っているために、総務からの人材育成に関する提案等に耳を貸さないことが多い。その理由は、総務の人員の中には、専門知識が無いので、仕方なく人材教育を看護部に任せるしかない弱みもある。
- 総務が思うに、入職後二年目までは、日本語教育を中心に総務の責任で行い、三年目以降は、看護部に専門知識の教育指導を任せるといって、はっきりとした線引きができれば、もう少し教育効果が上がるのではないかと、思っている。当院では今まで、複数の看護師候補者を受け入れてきたが、今まで一名も国家試験合格者を出していないのが実態だ。これを変えない限り、合格者は出ないと思う。(神奈川県・Y病院)

現場の切実な声を聞かない総務部！

- 率直に言って、看護師は日本語教師ではない。にも関わらず、外国人に日本語を教えろという無理難題な課題を総務部は強要してくる。
- 今まで何人もEPAを担当してきたが、日常会話もできない人に、専門知識の説明が分かるはずもない。はっきり言って、私たちの教育は「ぬかに釘」を打つようなことをしていると、日常的に感じている。なぜならば、看護師に必要な知識を専門用語を使って説明しても、ほとんど理解できていないことが、顔を見ると良く分かるからだ。

(大阪府・M病院)

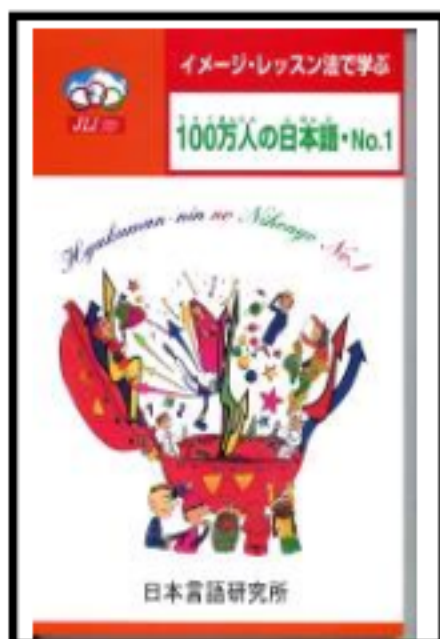
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

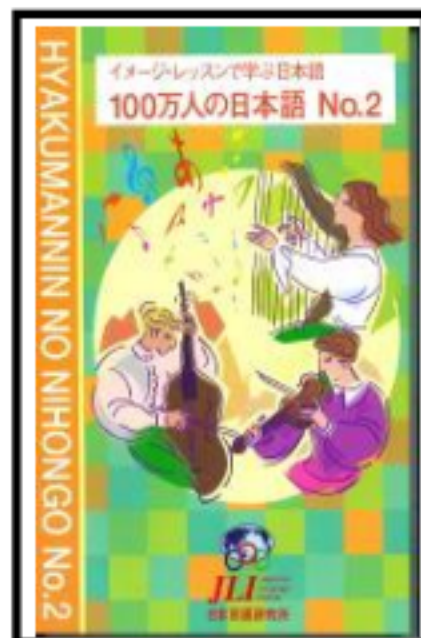
学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

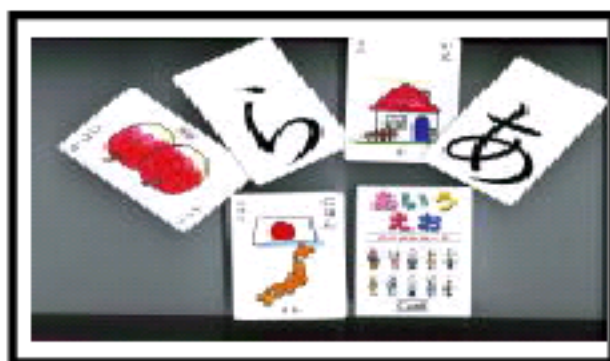
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

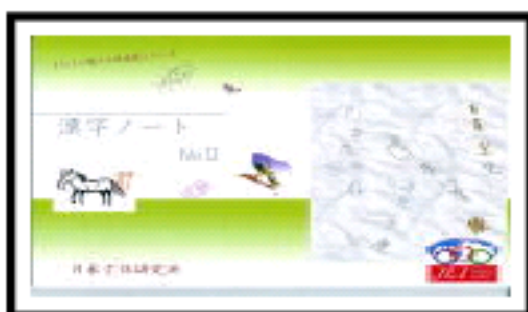
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵かき(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		